

西原村議会だより【ゆうすい】

Yūsui

第124号 令和4年2月3日発行

NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI

No.124
2022.2.3

CONTENTS

- ◆12月定例会／P2
《一般会計補正予算・質疑応答》／P2
令和3年度一般会計補正予算・質疑応答
- ◆議会報告／P3
阿蘇広域行政事務組合議会報告
請願・陳情書等審査報告書
令和3年第2回熊本県後期高齢者医療広域連合議会報告
- ◆一般質問／P4～8
西原村におけるSDGsの取り組みは？
総合体育館開館および施設管理について
西原村に新たな企業誘致の工業用地計画について
西原村が継承している伝統芸能について
村内における医療充実について
コロナ禍の経済悪化による
浮き彫りになった「生理的貧困問題」、
行政としてどう取り組んでいくのか
- ◆よこいきなごせ／P9
NPO法人にしはらたんぽぽハウス
- ◆生徒議会／P10～11
中学生生徒議会一般質問
- ◆地域おこし協力隊・編集後記／P12

消防団の勇士達!!

大切な西原村
私達が守ります!!



新型コロナウイルス感染症が長期化し、その影響を受けた子育て世帯を支援する給付金を西原村が県内で一番に全額現金で給付された。コロナ収束まで西原村民、力を合わせて対処していく。

12月
定例会

令和3年度一般会計補正後
予算59億4,007万円
(1億2,084万円の増額補正)

【主な歳出】

子育て世帯特別給付金	5,662万円
コロナワクチン接種事業	5,247万円
道路橋梁費	4,149万円

12月7日～12月10日までの4日間の会期で開催された。令和3年度一般会計補正予算他議案14件・承認2件・諮問1件を審議し全て可決承認した。9日には5名の一般質問を行い村政を質した。

【質疑応答】

- Q** 甘藷の基腐病が全国的にはやっけている。西原村ではどのような対策をしているか。
- A** 1月14日から県より講師を招いて集落ごとに集まって頂き勉強会を行い、基腐病対策の周知を図っていききたい。
- Q** 熊本地震災遺構解説看板設置工事費の内容は。
- A** 大切畑ダム付近の断層・村道下小森小高山線付近のガードレールと歩道のずれ・役場敷地内の浄化槽の傾き等の4か所に震災の遺構として、案内板と説明板の設置予定。
- Q** 村道路面の凹凸で大型車両通行により住宅振動が起き迷惑している。早急に路面舗装の改修工事できないか。
- A** 早急に舗装が終わるよう取り組んでいく。
- Q** 農道の生コン舗装・用水路等の原材料支給について、原材料が高騰している。現在の生コン70万円・2次製品30万円上限の改正はできないか。
- A** 3年間の間、時限立法という形で、3割増しの額を提示できるようにしたい。
- Q** 新型コロナウイルスの村内接種はファイザー製であったが、3回目のワクチン接種について、ファイザー製・モデルナ製とあるが、接種者が選べるのか。
- A** 西原村にファイザー製・モデルナ製と6対4の割合で配布される予定。予約の段階で選んで頂く形式をとる。
- Q** 村として熊本地震災復興記念碑の建立はできないか。
- A** 総合運動公園が完成した時に、復興の証として建立計画している。

請願・陳情書等審査報告書

総務福祉常任委員長／中西 義信

件名／コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

審査の結果……………採択すべきものと決定

委員会の意見……………妥当と認める。

よって本議会において国会及び関係行政庁に意見書を提出したい。

《経過説明》

請願6号は昨年9月の定例会において委員会付託（審議）になり、コロナの影響が落ち着いた11月25日に小栗税務課長を招いて、意見書の5項目について村における税収の影響を検討したが村の財政を鑑みても、全員が妥当と判断したので採択に至った。

阿蘇広域行政事務組合議会報告

組合議員／上野 正博

令和2年度決算について

【一般会計】	歳入総額……………	30億9,553万3千円
	歳出総額……………	30億4,960万3千円
	歳入歳出差引額……………	4,593万円
【特別会計】	西原村負担金……………	5,953万2千円

《特別養護老人ホーム阿蘇みやま荘》

歳入総額……………	3億2,101万円
歳出総額……………	3億914万3千円
歳入歳出差引額……………	1,186万7千円

《養護老人ホーム湯の里荘》

歳入総額……………	2億9,008万1千円
歳出総額……………	2億7,866万4千円
歳入歳出差引額……………	1,141万7千円

合計	歳入総額……………	6億1,109万1千円
	歳出総額……………	5億8,780万7千円
	歳入歳出差引額……………	2,328万4千円
	西原村負担金……………	2,160万5千円
	一般特別会計額……………	8,113万7千円

本村から阿蘇みやま荘に1名、湯の里荘に6名入居されています。
湯の里荘跡地については早急に利活用を進める必要があると監査委員報告があった。

令和3年 第2回 熊本県後期高齢者医療広域連合議会報告

定例会令和3年11月12日に熊本県市町村自治会館において開催

組合議員／堀田 直孝

本議会では、議第9号から第19号までの議案が上程された。

主な事項については、

議第14号の令和2年度熊本県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算の認定では、

歳入総額……………	2億8,039万1,844円
歳出総額……………	2億4,442万7,238円
歳入歳出差引残額……………	3,596万4,606円

議第15号の令和2年度熊本県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定では、

歳入総額……………	2,927億7,792万8,704円
歳出総額……………	2,793億6,575万8,696円
歳入歳出差引残額……………	134億1,214万42円

全ての議案において採決の結果、賛成多数で可決された。

Questions

堀田 直孝 議員

一般質問

西原村におけるSDGsの取り組みは？

村 長／第5次西原村総合計画により施策事業を実施!!

SDGsの 本村での取り組み 状況について

【堀田】最近、テレビや新聞等でSDGsという言葉や文字を見

ない日はない単語になってきた。このSDGsとは「持続可能な開発目標」として、世界中が環境問題・差別・貧困・人権問題等を2030年までに解決しようとする計画目標であるが、本村での取り組み状況は如何か。

【村長】SDGsの17の項目は本村の最上位の第5次西原村総合計画にリンクする部分があり、それに基づき「まち・ひと・しごと

地方版総合戦略」等の行政計画を作成し施策事業を実施している。

【総務課長】保健衛生課においては、熊本都市圏域18市町村共同で、熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画を策定した取り組みをしている。産業課においては、安定した食料供給のために、生産振興と新

規就農の促進により食料自給率の向上を図る取り組みをしている。また、スマート農業の推進を図り、農業の重労働からの解放を実現することで農業人口の増加を目指すとともに、働きやすさを実現する取り組みを行っている。企画振興課においては、再生可能エネルギーの推進の取り組みを行っている。

住民福祉課においては、生活困窮者等の自立相談支援、療育相談員の設置、社会福祉協議会との連携・運営補助・地域支え合いセンターの設置運営、地域子育て支援事業などの取り組みをおこなっている。

【教育長】教育の目標として掲げるのは、家庭ゴミの分別、マイバツグの持参、節水や節電、油を台



SDGsの基本になる総合計画

所に流さないといった活動、いわゆる実践、あるいは貢献できる人を育てることであり、SDGsの目標達成には教育カリキュラムの中に、教育委員会と学校が共同して取り組み、個々でやれる実践力と共同してやれる実践力を養う計画を策定していく。

今後本村での 取り組み計画 について

【堀田】熊本県ではSDGsに積極的に取り組む企業や団体を後押しするために、SDGs登録制度を開設したり、自治体では市民活動スタートアップ支援事業で、SDGsに取り組む住民団体や学校・NPO法人に対して助成を行っている自治体もあるが、今後の本村での取り組み計画は？

【総務課長】他の自治体の取り組みを参考に2024年以降からの第6次総合計画においてSDGsの基本理念や目標を反映した計画策定について検討していく。



一般質問の記事は、質問した議員が要約したもので原文を尊重し一部編集しています。

総合体育館 開館について

【西口】施設の使用が令和4年からのことであるが、落成式及びイベント等の計画はどのように考えているのか。



総合体育館；内部

【西口】コロナ禍で出来なければどのよう
な形で今後
進めていく
のか。
【村長】その
時の状況で
判断したいと
思っている。

体育館施設 管理について

【西口】教育委員会が施設持管

総合体育館開館および施設管理について

村 長／3月下旬に小規模、公園全体完成後大々的な竣工式を!!
教育 長／当面の間は、本村直営で運営をする。

西原村に新たな企業誘致の工業用地計画について

村 長／企業誘致に有利な工業団地造成を行う考えである。

理担当になると思われるが、施設運営に向けての考えと、今後の方向性としてどのように考えて行かれるのか。

【教育長】現在、村民のスポーツ等の振興を図るとともに、健康の増進及び文化の向上に資するために、施設の条例等の制定に向けて、近隣自治体の管理運営等を参考にしながら、準備を進めている。当面の間は、本村直営で運営したいと思っている。今後は保守維持管理などの経費を把握し、財政と打ち合わせながらいくのではないかと思っている。近隣自治体は指定管理者委託というのが多くなっているため、今後検討するところが出てくると思っている。

西原村に新たな 企業誘致の工業 用地計画について

【西口】世界大手の台湾積体電路製造(TSMC)が菊陽町へ

の進出が決まり、国も国産生産基盤強化先端半導体の誘致報告もあり、今後ますます熊本も変わっていくものと考えられる。
西原村は立地も良く、この機会を千載一遇のチャンスと捉え、計画を進めることは出来ないか。
【村長】現在、熊本県でも空港周辺の自治体等で工業団地の候補地を検討されている状態である。副知事も、各自自治体の状況を見て回られ、「用地確保をした方がいい」ということで来られた。このような状況の中で、村として先行して工業団地造成をおこなって用意をしておくことも、企業誘致には有利な部分でもある。県内の状況でもまだ空き地がある状況の中で、企業が求める用地面積もあり、どの程度の規模で造成するのかなど問題はありますが、これに惑わされることなく作るといふ考えである。
状況は変わってくると思うので、県企業立地課と相談しながら進めていきたいと思っている。



Questions

小城 保弘 議員

一般質問

西原村が継承している伝統芸能について

教育長／伝統を知ったり神楽の魅力を伝えるという取り組みを考えている

西原村承認芸能

団体の数について

【小城】西原村が今承認している芸能というのは、現在いくつあるのか。

【教育長】西原村が今何団体認めているか、認証しているかと言う事だと思うが、今確認しているのは、休止状態の団体も含めて、伝統芸能保存会は、1つ目が12年周期で執り行われる、県指定無形文化財のお法使祭りのお法使屋会、2つ目が各地域で継承されている宮山神楽保存会、3つ目が阿蘇四の宮神楽保存会、4つ目が河原神楽保存会の4団体であると認識している。

神楽保存会の

統一について

【小城】神楽保存会について、現在3団体ある神楽保存会を1つにまとめ、西原村の伝統を守り伝える西原村肥後神楽保存会として統一はできないか。

【教育長】本村に伝わる神楽を後世に伝承していくという事は、文化の伝承でもあり、大変意義深いものであるという事は認識している。ただ一点心配している事は、各地で継承されているものはたとえ本来が同じものであっても先人からの口伝えであるもので、少しづつ地域によって衣服や舞い方に違いがあり、それが特徴となつている様に考える。

統一する形になると、そういうものが薄れてしまう事が懸念される。生涯学習講座・総合学習スポーツクラブの活動として、現役の神楽保存会スポーツクラブの方々に講師としてご協力いただき、神楽の舞や楽器などを習うという事で伝統を知り、神楽の魅力を伝えるという取り組みを今は考えている。

伝統神楽の

継承保存について

【小城】現在1団体しかない宮山神楽保存会が無くなれば、もう神楽の継承保存が、この村か

ら無くなる。

伝統の継承という意味でも再度確認して、肥後神楽保存会としての存続をお願いしたい。

【教育長】今は1団体しかない。その団体すら無くなつたら、もう伝統どころではないという強い気持ちにはわかるので、お互いに良い方向に煮詰めて行ければと思う。

【村長】まず大事な事は、神楽を舞うとか、笛とか、太鼓とかいろいろあるけども、それをされる方々が「つにまとまろうじゃないか」という気持ちが一番大事な事だと思う。全体的に多数あった神楽保存会の方々全てが集まり、話をしてこれからどうするかという事を検討していただければ、ありがたい。



西原村伝統神楽

発言が「～である。」調で記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。

高本 孝嗣 議員

一般質問の記事は、質問した議員が要約したもので原文を尊重し一部編集しています。

村内の一般医療施設が一医院となった。
村として、現状の医療施設体制を
どのように思っているのか

【高本】私が幼少期のころは、村内に数件の医院（医療施設）があった。

令和3年4月には一医院となり、今後本村での医療体制がそのまま続く村民の方々の安心した生活が出来るのか不安を感じる。

今後インフルエンザの予防接種はもとより、新型コロナウイルスの治療薬も開発され、日常的に予防接種希望者が増え、来年から団塊世代が後期高齢を迎え、運転免許の返納者が増えると予想される。遠方掛かり付け病院から近隣医院へ転院されることも予想出来る。

このまま一医院体制が続くと、この二医院に負担が大きくなるのではないかと心配している。村としての医療体制をどのように思っているのか。



西原村ただひとつの一般医療施設

【村長】医療体制整備は急務であると認識している。一朝一夕で出来るものでないので、後期高齢者の健康状態を把握し、健康維持と介護予防を取組んでいく。

病院・医院等の誘致策として、
期待する医院等への優遇配慮等を
執ることはできないか。

【高本】村はかつて医療機関の誘致を強く要望した時代に優遇措置をとった経緯があるが、一医院となった今、医療機関の誘致を強く要望する時期が来たと思う。

少々の配慮や優遇によって村が望む、期待する医院等に誘致できれば、村としての医療体制の充実が図られると思う。

そのことを踏まえ医療機関誘致に対して、優遇措置・準備体制等を整え迎えることは出来ないか。

【村長】過去の経緯もあり、村として可能な支援が出来ればと思う。

野村先生と協議しながら各種予防接種等の事業もお願いしたい。

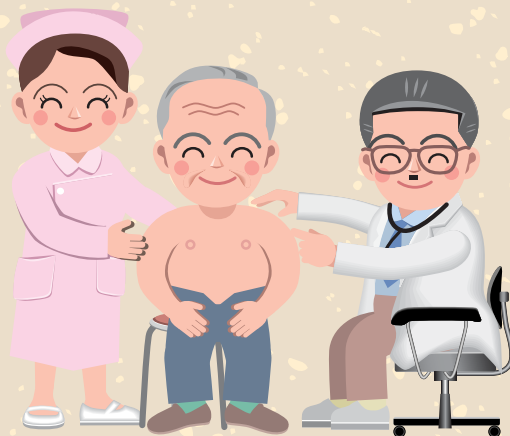
現在西原村で開院を2件ほど検討されている。決定に至っていない。

ないが、村民の方々に安心できるように2件目の医院開院に努力する。

村内における医療充実について

村長／医療体制整備は急務であると認識している。

村として可能な限りの支援を考え、村民にとっての安心できる病院開設に向けて努力する。



General Questions

尾崎 幸穂 議員

発言が「～である。」調で記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。

一般質問

「コロナ禍の経済悪化により

浮き彫りになった『生理の貧困問題』、

行政としてどう取り組んでいくのか

教 育 長／各学校校長に『生理用品』をトイレにも置くことを提案

住民福祉課長／必要な方に支援できるように検討し進めていく

行政として『生理の

貧困問題』をどう認

識しているのか

【尾崎】「コロナ禍の経済状況悪化で浮き彫りになった『生理の貧困問題』、男性優位社会の中では声を上げにくい状況であったが、世界中でこの問題に対し

声が上がりに始めている。本村ではこの『生理の貧困問題』をどう認識しているのか。

【村長】国会、報道でも大きく取り上げられ、大きな反響となった。生理用品が購入できないことは当事者にとって、声を上げづらくまた女性にとっては深刻な問題で、本村としてもこの問題に対し対処する必要があると考えている。

『生理の貧困問題』に

対し、本村はどう取り組

んでいるのか。

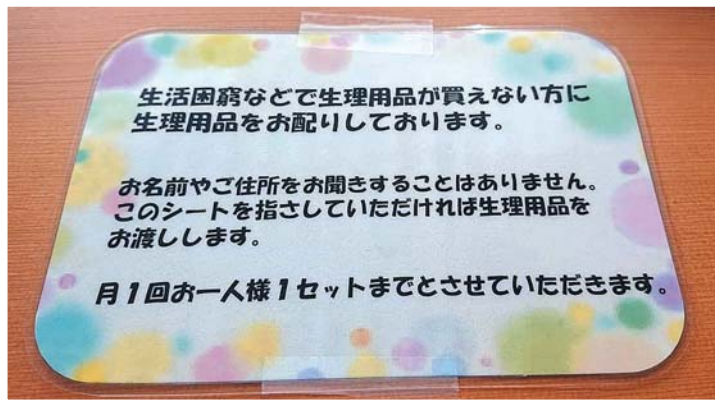
【尾崎】男女共同参画局が行った調査『生理の貧困』に関わる取り組みを実施している地方公共団体（令和3年7月20日時点）は581団体うち熊本県内は8団体となっている。本村はどう取り組んでいくのか。

他町の配慮された取り組み

【教育長】各学校の保健室だけには潤沢にあるようにして自由に持つていけるように整えているところである。

【住民福祉課長】今後、社会福祉協議会と協力して生活困窮者支援事業、相談支援事業等を活用して支援ができるように検討し進めていきたい。自治体の取り組みの多くは、配布する『生理用品』の調達元が使用期限の近くなった防災備蓄品の活用であったが、現在村内の備蓄品の中には生理用品がない。来年度、生理用品を含めた備蓄品の購入を考えているので使用期限が近づいた物を広く活用していけるよう協議、検討していく。

【尾崎】村内の子供たちに「学校で生理用品が必要になった時はどうするのか」と質問したところ、多くの子ども達は友達から借りると答えた。羞恥心により先生や保健室にお願いすることが難しい子どもたちもいる、



トイレに常備することを検討できないか。

【教育長】各学校校長に『生理用品』をトイレにも置いていただくようお願いする。





NPO法人にしはら

たんぽぽハウス

にしはらたんぽぽハウスは、身体・知的・精神障がいのある人、保護者、地域住民の方々が参加して平成16年から17年にかけて行ったワークショップを通じて「バリアのない地域づくり」を目標に設立いたしました。

たんぽぽハウスの利用者は、障がいのある人だけでなく、引きこもりの人等様々ですが、自然農法で作った農作物や地域住民の方々から頂く規格外の農作物を使ってドレッシングやカレー等の加工品を作り、販売したり、お惣菜を作って山間部を回り、買い物が出来ない方々の買い物支援を行っています。また子ども食堂を開いて地域の子供達と交流したりと、それぞれが役目を持ち、毎日集い笑顔が広がっています。

一つ一つの活動が利用者の仕事(活躍の場)になるだけではなく、様々なひとの居場所を生み出し、力を引き出し、タンポポの種が空に舞い風に運ばれるように地域の皆様と共に福祉のこころをはぐくむ活動を広げていきたいと思っております。

たんぽぽハウスでは、一緒に働く仲間を募集しております。
もちろん、ボランティアとして手伝いをしてくださる方も大募集中です。
一度、たんぽぽハウスに遊びに来ませんか。



たんぽぽハウス移動販売状況

NISHIHARA TANPOPO-HOUSE



NPO法人にしはら たんぽぽハウスの皆さん

村を思う気持ちは誰にも負けない!! 現職議員に負けない白熱した質疑!!

11月26日西原中学校3年生代表12名による「志学塾」子ども議会が開催され、村に対しての様々な質問や提案がなされました。



《3年1組》

村の財政 について

【松永優月】令和2年度の公債費が約10億となつている。現在基金積立が42億円あるのに借金しているのはなぜか。

【総務課長】地方債を借りることと、償還金を国から交付税として充てられることによって村の実質的負担額は減る。

安全について

【福田愛】西原村には通学路の明かりやお店も都市部と比べて少ないため街灯の代わりになる光が十分でない。そこでい



ろんなメリットがある太陽光発電LED街灯の設置を提案するが検討して頂けないか。

【総務課長】村内には村が設置した街灯が500カ所ある。太陽光LED街灯のメリットは理解しているが、高額なので今後検討していきたい。

環境・観光・ 産業について

【渡邊心也】西原村のHPには簡易的な地図やイベント、施設などの観光についての情報が載っているが、村内にあるのに記載されていない観光地や施設などが多くある。なぜ載せないのか。

【企画商工課長】村のホームページには主に村が所有している施設を紹介している。その他の紹介は観光協会のホームページを見ていただきたい。

学校における 健康増進に ついて

【山口晴郁】授業に集中するためや脳の正常な目覚めを維持するために「午睡」を取る取り組みをしているところがある。午睡には健康上、メリットがある。本村の小中学校でも取り入れてみてはどうか。

【村長】学校の生徒議会に提案し、議決して頂き校長先生に正式にお願いしてみてもどうか思う。

教育について

【中西好】西原村には教育施設として山河の館がある。コロナ禍で使用の制限があり、自由に学習できない現状である。学習施設を作つては如何か。

【村長】コロナの影響で施設の開放は難しいが、教育委員会と相談して何らの手助けをしていきたい。

子育てについて

【増田みずき】西原村では「ひよこ学級」や「育児教室」などがあると聞いている。しかし、行きづらい人や忙しくて行けない人もいると思う。そこで誰でも簡単に答えられるアンケートを実施すると、村民の意見も伝わり子育てしやすい村になると思うが如何か。

【保健衛生課長】本年、子ども子育て包括支援センターを開設した。今後、子育て支援に関するアンケートを実施し、政策に反映させていく。

《3年2組》

観光・産業 について

【橋本光顕】現在、村内には飲食店に関して河原方面にはほとんど無く、ファミリーストランも閉店し観光帰りに寄るところがないなどの現状がある。村を盛んにするメリットから新しいお店を作つて頂けないか。

【村長】河原地区にはお店も無く心配している。お店の作るに

令和3年度 第2回 西原中学生徒議会一般質問

発言が「～である。」調で記載していますが、質問・答弁は丁寧語で発言されています。

【西村藍介】今ある各地区の公園整備を行ったり、新しい遊具の設置を行って頂くことを提案します。公園は子どもから大人まで利用でき、避難所としての機能を果たすものと考えている。

子育てについて

は人口を増やさなければなりません。河原に家を建てる人のために補助金を出せないか検討している。



【野口昇大】西原村には内科の病院が1軒しかない。ゆえに他

健康・医療

について

【教育課長】各地区の公園は各地区で管理されている。村としては運動施設、防災施設を兼ね備えた総合体育館が4月にオープンする。そこで、子どもからお年寄りまでが集う憩いの広場として整備を進める。

如何か。

町村の病院を利用したり、本村でも年々増加する高齢者や子どもも多い家庭が病院を利用する点でもデメリットが多い。西原村をもっと住みやすい村にしていくためにも小児科または内科などの病院の設置を提案する。

【保健衛生課長】今後、村内で開業を希望される医師や医療機関があればいち早く情報を収集して、可能な支援を行っていきたい。

安全・環境

について

【田中陽葵】河原地区の自転車で登校する生徒達は街灯の間隔が広すぎる道や街灯が全くない道路があり怖い思いをしている。今後街灯を増やす予定はあるのか。

また、登校中の信号機についても日光に反射し分かりづらく事故に遭いそうになった。信号機を見やすく出来ないか。

【総務課長】防犯灯の間隔が広い道や防犯灯が無い道は確認して今後検討する。見えづらい信号機については警察署にLEDへの交換を要望する。

観光・産業

について

【福田真聖】西原村は豊かな自然や美味しい食べ物など沢山ある中、その魅力を十分発信しておらず観光客を呼び込めていないように感じる。観光客を呼び込むための具体的な取り組みは。

【企画商工課係長】「水と緑と光の村」を題材にプロモーションの動画を作成した。また、観光協会のホームページで村のお店の情報を発信している。

財政等について

【須藤沙月】村債は平成15年をピークに減少傾向にあったが、平成27年度において特定地区公園事業や熊本地震などの要因から増加傾向にある。村債の増加による村民への影響。また、返済の見通しは如何か。

【村長】熊本地震による復旧工事で120億円かかった。国から半分頂いて残りを借りたが返済すると9割国から返ってくるシステムである。



地域おこし協力隊

Community Development Cooperation Team
for Nishihara Village

白木 里奈さん

こんにちは。現在、私は地域おこし協力隊として観光協会の業務を担当しています。昨年4月に西原村に移住して来た為、来た当初は西原村を含め、阿蘇地域の知識がありませんでした。そこで少しでも地域のことを知りたいと考え、阿蘇デザインセンター主催の「阿蘇地域観光地域リーダー育成講座」という研修に参加致しました。その講座では、阿蘇7市町村から集まった10名が、自身の地域の強みや課題を抽出し、現地取材して最終講座の際にプロジェクトを発表するという内容でした。私は最終講座の際に特産品であるさつまいもの「シルクスイート」を題材としたプロジェクトを発表致しました。

私は西原村の特産品がさつまいもであるとは知っていましたが、プロジェクトをまとめていくにあたって西原村のシルクスイートは熊本県内では、知名度が低いことを知りました。知名度が低い理由としてシルクスイートはほとんどが県外に卸している為です。そして取材からは村内でシルクスイートをゆっく

り食べられる店舗が少ないこともわかりました。私はこんなにもおいしい特産品があるにも関わらず、県内や村内で消費できないのはもったいないと感じました。そこで私は県内でのシルクスイートの知名度向上と地産地消を目的とした新たな集客コンテンツとしてシルクスイートフェアを開催するプロジェクトを考えました。

シルクスイートフェアでは村内人気no.1を決めるシルクスイートグランプリの開催や、村民しか知らないようなおいしい食べ方を伝える冊子の作成。見るだけでシルクスイートを覚えてもらう為の専用のステッカーやのぼりを掲出すること等を考えています。

最近では焼き芋が再ブームしており、中でもシルクスイートは焼き芋界では人気の高い品種です。このブームの再燃により多くの方に西原村のシルクスイートを知っていただきたくプロジェクトを考えました。将来的には県内や県外からもシルクスイートを食べる為に西原村を訪れる人を増やすことが私の目標です。このプロジェクトに限らず、引き続き西原村の為に活動していきたいと考えています。



トロフィーを持つ白木さん



発表の様子

議長 山下一義

発行責任者

- 委員長 坂本隆文
- 副委員長 堀田直孝
- 委員 小城保弘
- 委員 高本孝嗣
- 委員 尾崎幸穂

広報委員

文責／尾崎幸穂

あけましておめでとうございませう。

昨年は中止だった出初式や来賓、親御さんの参列なしでの開催だった成人式にも今年からは村議員として初めて参列させていただきます。

昨年に引き続き、式典への参列が認められなかった親御さんたちは大変残念な思いをされたことと思います。

新成人の皆さんの初々しいスーツ姿や、艶やかな着物姿を見て子ども達の成長を感じ、ほっこりしました。

この子達が「西原村に住み続けたい、西原村で育つてよかった」と思えるような村づくりをしていきたいと改めて心に誓いました。

一刻も早いコロナの終息を願いながら新成人の皆様のお祝いの言葉とさせていただきます。

新成人の皆様おめでとうございます。

